

学年	科	コース	教科	単位数	担当者
2	国際	スポーツ	国語表現	3	野村
担当者(担当クラス)		野村(8組)			
この科目を履修するための条件や準備 表現に関心を持ち、日頃から新しい情報を獲得する態度を持ち、学んだことを日常に生かすよつに心がけること。 テキスト(「国語表現の実践」)・課題プリント・コンプリート常用漢字テキスト・国語辞典を用意すること。					
この科目のねらい 目標 国語を適切かつ効果的に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし言語感覚を磨く。					
具体的な指導方法 具体的な目的を設定した課題プリントを配布し演習を行う。授業終了時にプリントチェックを行う。					
使用教材					
使用する教科書 なし			使用する副読本 京都書房 コンプリート常用漢字の級別学習 二訂版 第一学習社 小論文 チャレンジノート1		
評価方法 小論文テスト(2学期中間)・平常点(課題の提出・授業態度・出席状況)等で総合的に判断する。					
年間授業計画					
I. 1学期期末考査まで 1年次「国語表現」で学んだ基礎をより深めた課題(プリント)に取り組む。 ・漢字、語彙(慣用表現等) ・表記(仮名遣い、句読点や区切り符号の使い分け等) ・表現(文体の使い分け、表現の工夫等)					
II. 2学期中間考査まで 第一学習社「小論文チャレンジノート」を用い、表現力・思考力・探究力を身につける。 中間考査にて小論文テスト実施					
III. 2学期期末考査まで 文章の基礎 ・話し言葉と書き言葉の違い ・客観的な表現を学ぶ 文章表現の実践 ・段落構成 ・意見文を書く ・議論文を書く					
IV. 学年末考査まで 感じたことを言葉で表現する 文章を書くための材料を集める 紹介の文章を書く					